令和 8 年 9 月 15 日

交通事故による救急搬送統計について

本組合管内では過去 5 年間に発生した交通事故により 5,678 名が救急搬送されています。移動手段別にみると歩行者は 10 人に 1 人が重症以上（死亡を含む）となっており、自転車（3.4%）の約 3 倍となっています。

救急搬送人員は 9 月から 12 月にかけて増加する傾向にあることから交通事故を予防するため、以下のとおりまとめましたのでお知らせします。

*小数点を含むものは、小数第二位を四捨五入した数値で表記しています。

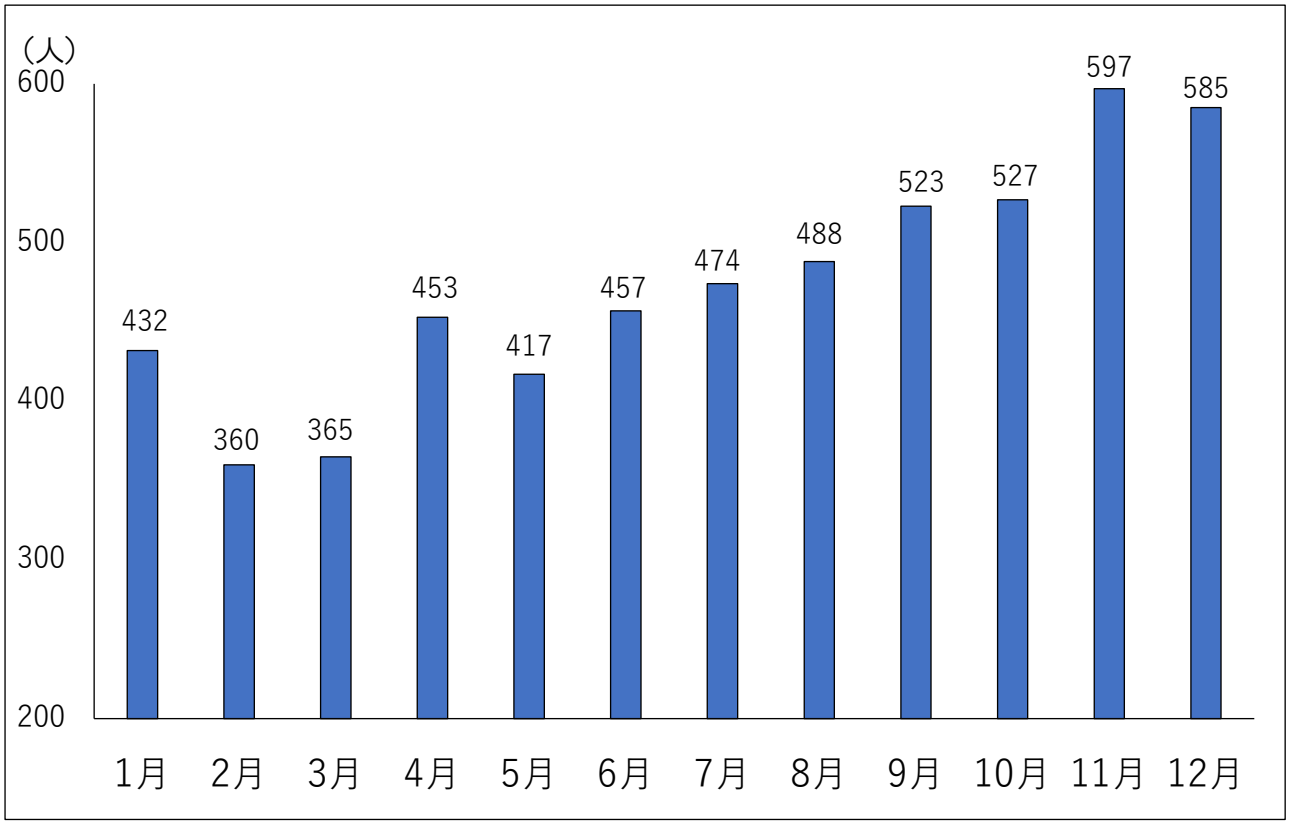
*年齢区分について、乳幼児とは 0～6 歳まで、少年とは 7～17 歳まで、成人とは 18～64 歳まで、高齢者 65 歳以上。

*交通事故によって救急搬送された方の事故にあった際の移動携形態を「自動車」、「自転車」、「歩行者」「二輪車」の 4 種類に分類し統計化しています。

* 2021 年から 2025 年の期間で集計。

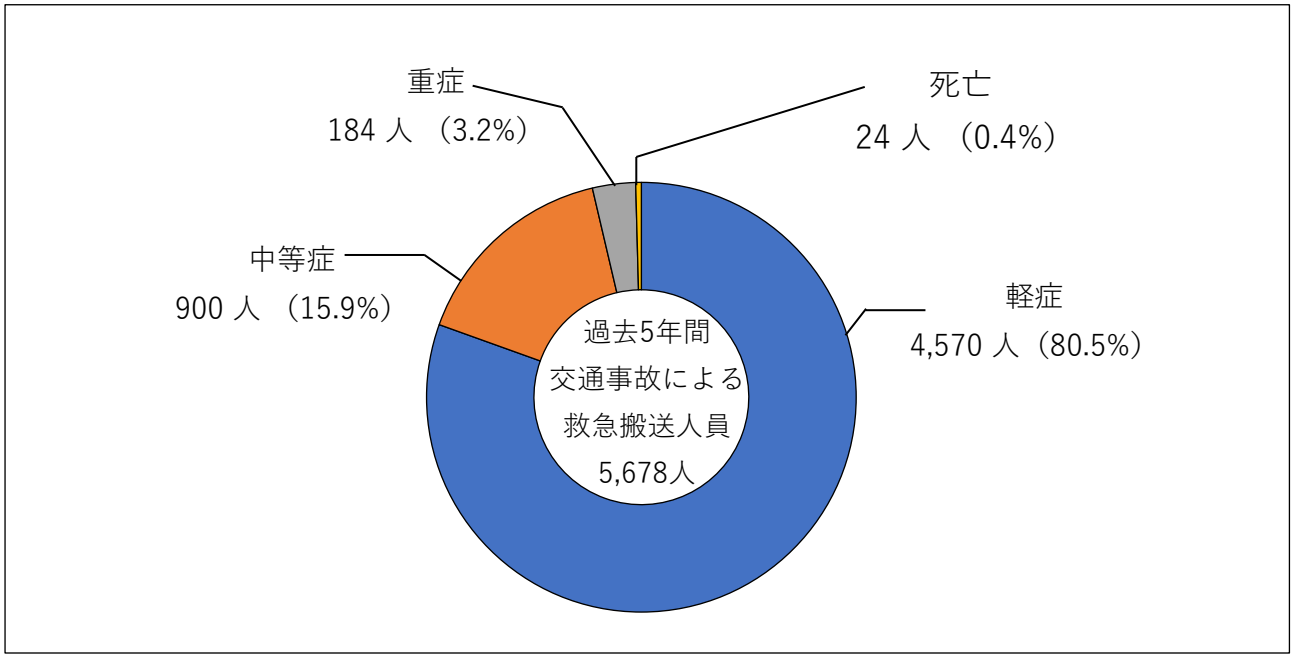
■ 交通事故による救急搬送人員

月別の救急搬送人員をみると 9 月が 523 人、10 月が 527 人、11 月が 597 人、12 月が 585 人と 9 月から 12 月の 4 か月はいずれも 500 人を超えています。年間で最も多いのは 11 月の 597 人で最も少ない 2 月の 360 人の約 1.7 倍となります。



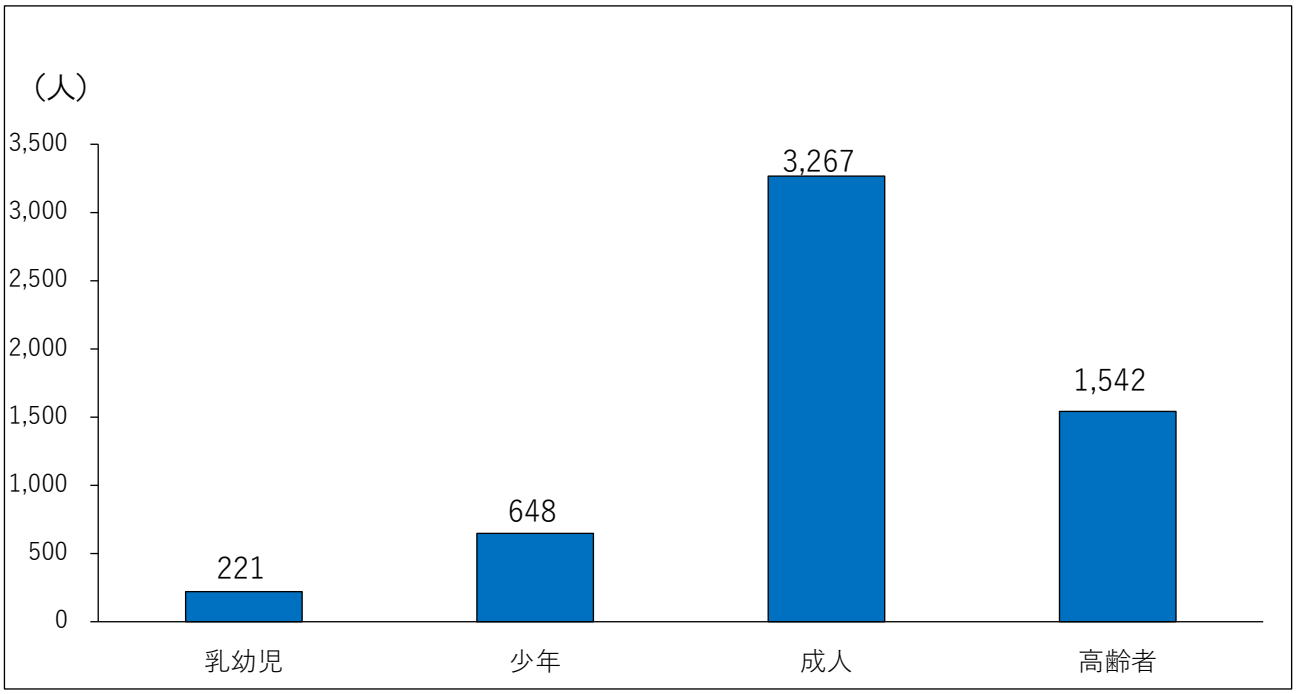
■ 傷病程度別の救急搬送人員について

傷病程度別では、軽症 4,570 人（80.5%）と最も多く、次いで中等症 900 人（15.9%）、重症 184 人（3.2%）、死亡 24 人（0.4%）となり、入院を要する中等症以上は 1,108 人となります。



■ 年齢区分別の傷病程度について

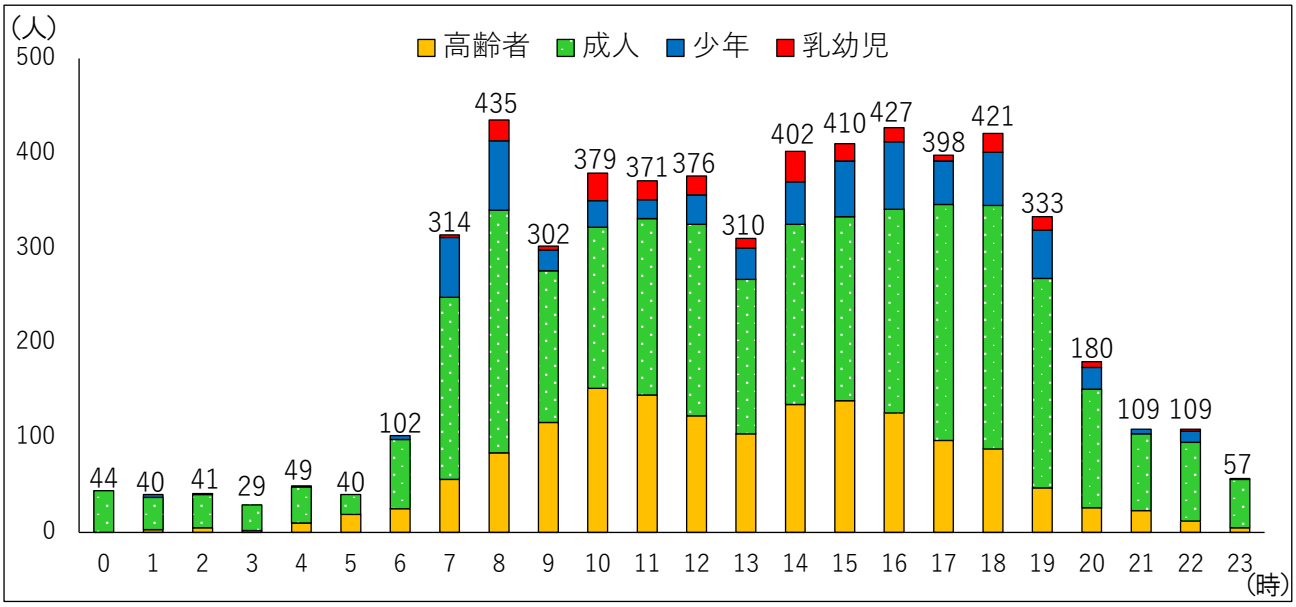
年齢区分別に搬送者数をみると成人が 3,267 人と最も多く、次いで高齢者が 1,542 人、少年 648 人、乳幼児 221 人と続きます。



■ 発生時間帯別の年齢区分について

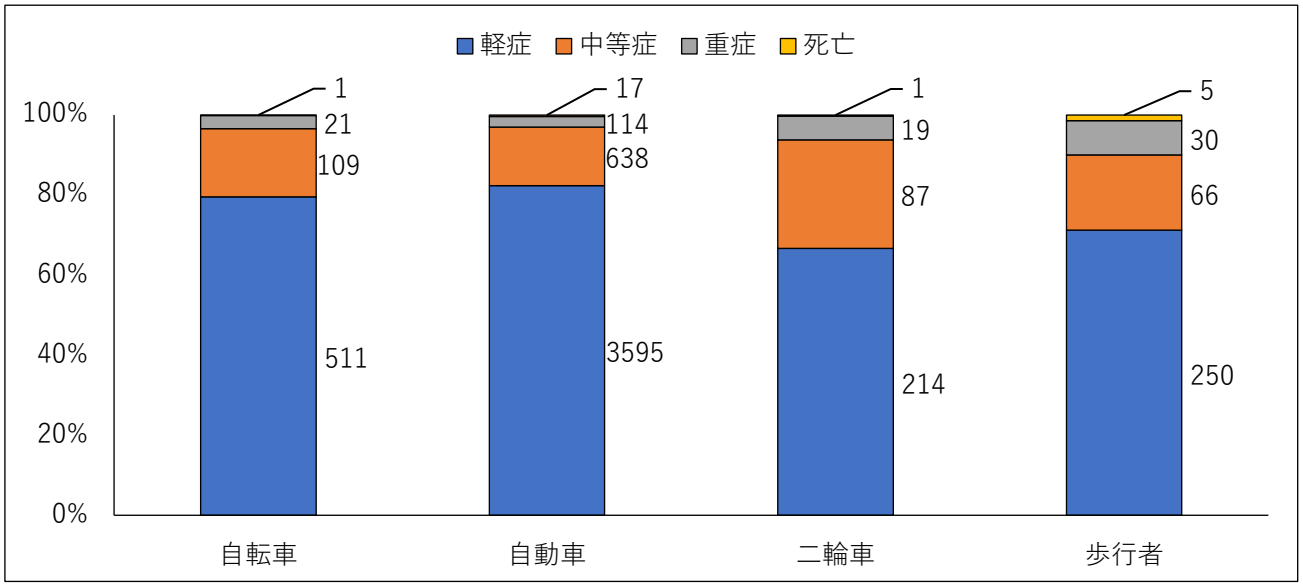
時間帯別にみると、通勤・通学時間帯の 8 時が 435 人で最も多く、次いで夕方の 16 時が 427 人、18 時が 421 人となります。16 時から 18 時の 3 時間で 1,246 人（全体の 21.9%）が救急搬送されており、日没が早まるこの時期の時間帯は注意が必要です。

年齢区分別では高齢者が 10 時と 15 時、成人は 8 時と 18 時、少年は 8 時と 16 時、乳幼児は 10 時と 14 時に多くなっていることが分かります。



■ 移動手段別の傷病程度について

移動手段別に傷病程度をみると中等症以上の割合は二輪車が 107 人（33.3%）で最も高く、次いで歩行者 101 人（28.8%）、自転車 131 人（20.4%）、自動車 769 人（17.6%）となります。



【お問い合わせ】
郡山地方広域消防組合消防本部
総務課統計分析係　吉田・坂下
TEL：024-923-1740 FAX：024-923-1228